

対談出席者

元早稲田大学教授
元大阪府立国際児童文学館 総括専門員
鳥越 信さん
吹田市職員労働組合 執行委員長
有田 八郎さん

12万点を寄贈された鳥越信さん 大阪府立国際児童文学館 の生みの親

吹田の万博公園での存続を求めたい



橋下知事に府立国際児童文学館の現地存続を求める
寄贈者・関係者の人たち=1月21日、府庁内

有田 本日は大変お忙しい中、児童文学者の鳥越信さんにお越しいただきました。鳥越さんは今話題の大阪府立国際児童文学館に約12万点の資料を寄贈され、いわば児童文学館の生みの親ともいえる方です。まず最初に国際児童文学館が千里の万博公園にオープンした経過や当時の思い出などをお聞きしたいのですが。

資料を公的な施設に 寄贈しようと考えた



児童文学者の鳥越信さんと有田八郎さん

鳥越 国際児童文学館が開館したのは、今から25年前のことです。当時私は早稲田大学で教鞭をとっていたのですが、毎年夏休み

になると、「先生、研究のために蔵書を見せてほしい」「助言をお願いしたい」などと全国から我が家に学生がやって来るんです。

何でわざわざ全国から我が家まで？と不思議だったんです。学生の多くは、まず国会図書館に行く。しかしそこで求めている本に出会えない。すると国会図書館の司書が「鳥越の家にいけばあるかもしれない(笑)」と、私の自宅を紹介していたのです。

当時はクーラーもありませんでしたから、夏は裸同然でくつろいでいるでしょ。そうしたら学生、特に児童文学を研究しているのは女子学生が多いですから、慌ててシャツ着て(笑)「どんな用事ですか?」と。これは個人で対応していたら大変だ、と蔵書を公的な施設に寄贈しようと考えたのです。

有田 それで1983年に、寄贈先を公募されたのですか?

鳥越 そうです。自治体や企業、大学など600か所ほどに呼びかけました。蔵書を引き取ってもらう際の条件は2つ。①引き続き子どもの本にかかわる資料を集め続ける。②それらを整理して公



有田 八郎さん

開する。の2つです。当時の新聞にも大きく取り上げられて、30ほどの自治体・団体から問い合わせがあつて、最終的には5か所に絞られたのです。

寄らば大樹の陰と 大阪に決めたのだが

有田 大阪府以外にも候補地があったのですか?

鳥越 とりわけ熱心だったのが滋賀県でした。当時県知事だった武村正義さん(後に政党「さき



橋下知事に異議あり!くらし・教育・文化を守れ!府民集会に1100人(2月12日)

の問い合わせに、正確で緻密な案内を続けることができました。**有田** 東大阪市にある府立図書館に統合するという橋下知事の方案では、いままでもやって来られた事業ができませんね。

「研究なら大学でできる」 と橋下知事

鳥越 まず蔵書保管のスペースがありませんし、専門スタッフによる正確なデータ整理ができなくなるでしょう。橋下知事は「研究なら大学でできるでしょう」とおっしゃいます。しかし何でもかんでも「研究II大学」とする発想が貧困だな、と感じますね。

例えば、利用者からの依頼のほとんどは朝日放送「探偵!ナイトスクープ」的な依頼です。**有田** といいますか?

鳥越 「子どものときに読んだ本を探しています。でも作者名も題名も分かりません、探してください」というようなもの。ほとんど探し出せませんし、実際「探偵!ナイトスクープ」の方も来られました。例えば九州の図書館から電話がありました。図書館にやってきた9歳の

すいた市民しんぶん 対談

すいた市民しんぶん 対談



鳥越 信さん

男の子が「僕の誕生日は○月×日です。○月×日に事件が起こる本が読みたい」と言う。九州の図書館では対応できないので調べてほしい、と。最初は大変な依頼だな、と感じましたが、9歳の少年の希望をかなえてあげたいと思い、調べました。今では全部答えられますよ。1月1日から12月31日まで。

このような依頼に応えようと思えば、大学では無理ですよ。図書館でも不可能です。

有田 大学と違って児童文学館だからこそ可能な研究の仕方があるのですか。存続を求める運動には、全国の児童文学者が賛同を寄せられましたね。私たち吹田市民にとっては、そんな素晴らしい国際児童文学館が吹田市にあることがほこりだと思つています。親子連れで歩いていける距離にある。平日には保育園や幼稚園児たちが遠足など

がけ(代表)が、わざわざ東京の自宅まで来られて「大津市に文化施設を作りたいので、ぜひ」と。個人的には傾きましたよ、滋賀県の幹部職員が「滋賀県では一億の金もたいへんな大金ですよ。その点大阪は一億なんてはした金です。蔵書を大事にしますよ」と。私の周囲の者も「寄らば大樹の陰。大阪の方が将来も安心」と「助言」してくれたので、大阪に決定しました。今にして思えば、「何が大樹や(笑)」という気持ちです。

大阪に決定しましたが、候補地

次に重視したのは「正確な情報を世界中へ発信すること」なので、そのための専門スタッフを充実させました。国際児童文学館は図書館ではありません。図書館法の適用を受けずに、自由な研究、蔵書の保管が可能でしたから、多く

集まりますので、その点万博公園が広さでは一番でした。